

Customer Value Creation  
October 2008

株式会社テイツー (JASDAQ7610)

---

2009年2月期 中間期

決算説明会

URL: <http://www.tay2.co.jp>

# TAY TWO

2009年2月期 中間期

決算説明

## 2009年2月期 中間期 連結業績サマリー

単位:百万円	07年2月期 中間期	08年2月期 中間期	09年2月期 中間期	増減額	
				対 07/2期 2Q	対 08/2期 2Q
連結売上高	19,789	21,747	19,755	△ 34	△ 1,992
連結営業利益	296	760	483	186	△ 276
連結経常利益	264	753	459	195	△ 293
連結当期純利益	49	451	91	41	△ 359

### ○ 連結業績は、前年同期比マイナス

新型ゲーム機の売上が好調であった前年同期の反動減により、減収減益となったものの、アイ・カフェ事業は赤字幅縮小、EC事業の黒字定着化により、平均成長トレンドに沿った営業利益、経常利益額を確保。

### ○ アイ・カフェ、EC事業ともに堅調に推移

古本市場事業：新型ゲーム機が好調であった前年には及ばず 前年同期比**マイナス**

アイ・カフェ事業：インターピアの新POSシステム売上計上により、営業利益は**赤字幅縮小**

EC事業：ユーブック会員数 **72万人突破** 営業利益は**黒字定着**

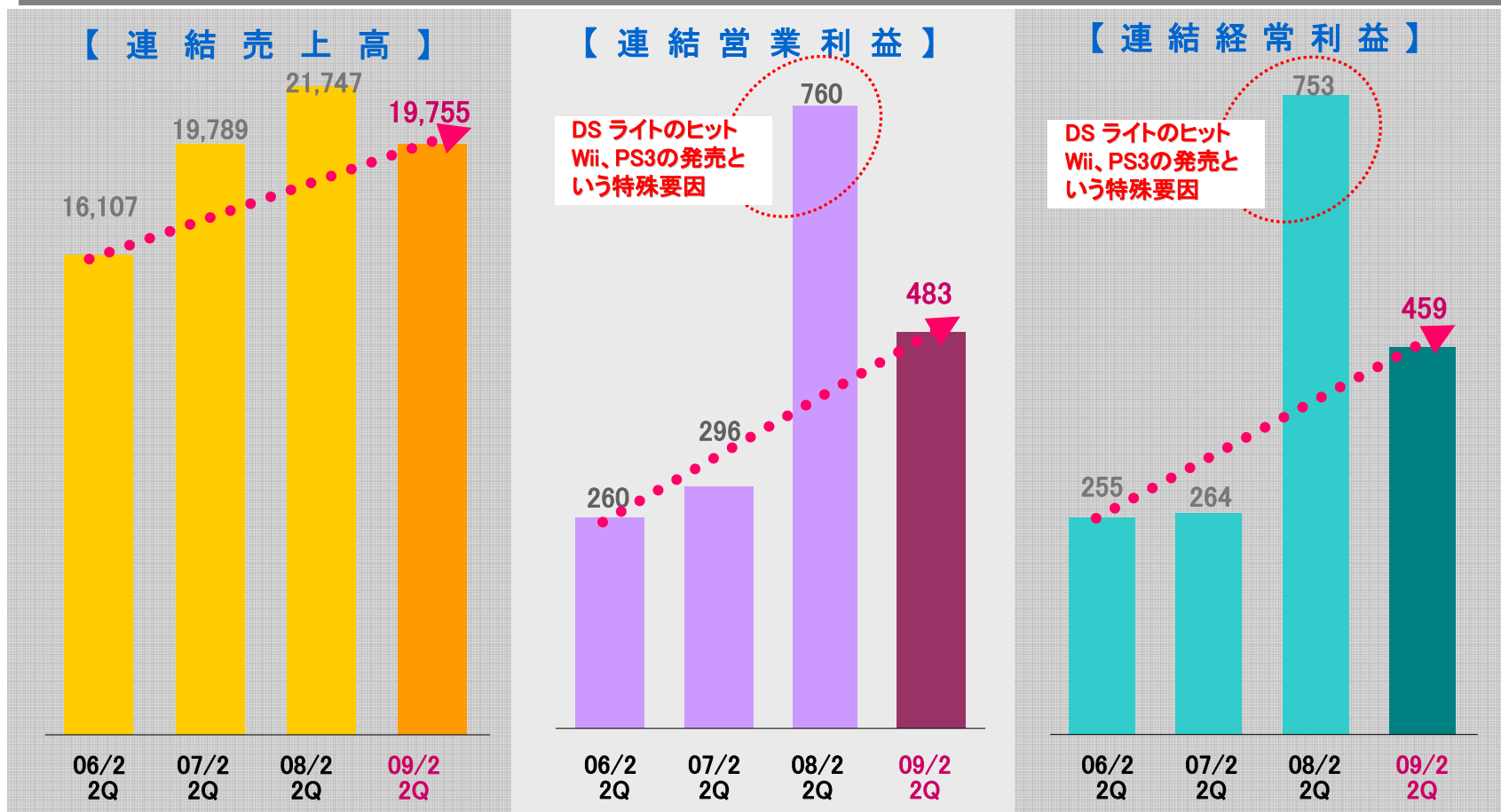
### ○ 古本在庫の一部廃棄決定

財務内容健全化および総資産圧縮による資産効率の向上ならびに物流センターの規模の適正化による将来の販売管理費の低減を図ることを目的として、**物流センターにある古本在庫の一部の臨時廃棄を決定。182百万円の特別損失計上。**

# 連結業績推移

単位:百万円

前年同期比では減収減益になったものの、トレンドラインを堅調に推移



単位:百万円	06年2月期 2Q	07年2月期 2Q	08年2月期 2Q	09年2月期 2Q
連結売上高	16,107	19,789	21,747	19,755
連結営業利益	260	296	760	483
連結経常利益	255	264	753	459

## 2009年2月期 中間期 対前年同期比

### 【連結損益計算書】

(百万円)

	2008年2月期 中間期(07/3~8)		2009年2月期 中間期(08/3~8)		前期比
売上高	21,747	100.0%	19,755	100.0%	△ 9.2%
売上原価	16,290	74.9%	14,519	73.5%	△ 10.9%
売上総利益	5,457	25.1%	5,235	26.5%	△ 4.1%
販売費一般管理費	4,696	21.6%	4,752	24.1%	1.2%
営業利益	760	3.5%	483	2.4%	△ 36.4 %
経常利益	753	3.5%	459	2.3%	△ 38.9 %
当期純利益	451	2.1%	91	0.5%	△ 79.7 %

前期ゲーム市場活況  
の反動減

### ☆ 特別損失を計上

B/Sの健全化および資産効率向上  
を目的として特別損失を計上

- ・古本在庫廃棄 182百万円
- ・有価証券評価損 19百万円

### 【単体損益計算書】

(百万円)

	2008年2月期 中間期(07/3~8)		2009年2月期 中間期(08/3~8)		前期比
売上高	20,192	100.0%	17,978	100.0%	△ 11.0%
売上総利益	5,102	25.3%	4,861	27.0%	△ 4.7%
営業利益	856	4.3%	517	2.9%	△ 39.5%
経常利益	862	4.3%	496	2.8%	△ 42.4%
当期純利益	374	1.9%	155	0.9%	△ 58.5%

## 2009年2月期 中間期 セグメント別業績 対前年同期比

### ■事業セグメント別売上高

(百万円)

	2008年2月期 中間期(07/3~8)		2009年2月期 中間期(08/3~8)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>連結売上高</b>	<b>21,747</b>	<b>100.0 %</b>	<b>19,755</b>	<b>100.0 %</b>	<b>△9.2 %</b>
古本市場事業	20,189	92.8 %	17,970	91.0 %	△11.0 %
アイ・カフェ事業	1,348	6.2 %	1,567	7.9 %	+16.2 %
EC事業	257	1.2 %	261	1.3 %	+1.7 %
消去	△47	△0.2 %	△43	△0.2 %	—

### ■事業セグメント別営業利益

(百万円)

	2008年2月期 中間期(07/3~8)		2009年2月期 中間期(08/3~8)		増減率
	金額	営業利益率	金額	営業利益率	
<b>連結営業利益</b>	<b>760</b>	<b>3.5 %</b>	<b>483</b>	<b>2.4 %</b>	<b>△36.4 %</b>
古本市場事業	1,326	6.6 %	1,075	6.0 %	△18.9 %
アイ・カフェ事業	△123	△9.2 %	△58	△3.7 %	—
EC事業	11	4.6 %	7	2.7 %	△39.0 %
消去又は全社	△453	—	△540	—	—

## 2009年2月期 中間期 予実対比

### 【連結】

(百万円)

	計 画		実 績		達成率
売上高	20,300	100.0 %	19,755	100.0 %	97.3 %
営業利益	580	2.9 %	483	2.4 %	83.4 %
経常利益	540	2.7 %	459	2.3 %	85.2 %
当期純利益	230	1.1 %	91	0.5 %	39.9 %

### 【事業セグメント別】

(百万円)

	計 画	実 績	達成率
<b>連結売上高</b>	<b>20,300</b>	<b>19,755</b>	<b>97.3 %</b>
古本市場事業	18,380	17,970	97.8 %
アイ・カフェ事業	1,700	1,567	92.2 %
EC事業	260	261	100.7 %
消去	△40	△43	-
<b>連結営業利益</b>	<b>580</b>	<b>483</b>	<b>83.4 %</b>
古本市場事業	1,150	1,075	93.5 %
アイ・カフェ事業	△20	△58	-
EC事業	10	7	71.8 %
消去又は全社	△560	△540	-

当初予想より消費環境が冷え込んだ影響

## 2009年2月期 中間期 特別損失の状況

	科 目	2009年2月期 中間期(08/3~8)
特 別 損 失	商品評価損	182百万円
	固定資産除却損	2百万円
	投資有価証券評価損	19百万円
		205百万円

### ○ 商品評価損 182百万円計上

物流センターにある古本在庫の一部の臨時廃棄を決定。これにより、

- ①財務内容健全化および総資産の圧縮により資産効率の向上。
- ②物流センターの規模適正化による将来の販売管理費の低減を図る。

### ○ 投資有価証券評価損 19百万円計上

平成20年8月22日に株式会社明林堂書店が民事再生法の適用を申請。保有する同社株式の時価が著しく下落したと判断したため、簿価1円とし計上。



## 2009年2月期 中間期 セグメント状況

古本市場事業は期初計画未達、アイカフェ・EC事業ともに堅調に推移

(前年同期比分析)

連結売上高:  $\Delta 1,992$ 百万円 ( $\Delta 9.2\%$ ) 連結営業利益:  $\Delta 276$ 百万円 ( $\Delta 36.4\%$ )

### 古本市場事業

前年同期比

売上高:  $\Delta 2,218$ 百万円  
営業利益:  $\Delta 250$ 百万円

- ✓売上高・利益ともに前年同期比減少
- ✓出店及びS&Bによる店舗網の拡充及び店舗競争力強化
- ✓ふるいち店舗情報サイト新設
- ✓既存店増収率:  $\Delta 11.4\%$

### アイ・カフェ事業

前年同期比

売上高:  $+ 218$ 百万円  
営業利益:  $+ 65$ 百万円

- ✓売上高は前期比増収。また、営業利益も赤字幅大幅縮小
- ✓インターピアの新POSシステムの売上計上
- ✓岡山本店のS&B実施
- ✓既存店増収率:  $\Delta 5.6\%$

### EC事業

前年同期比

売上高:  $+ 4$ 百万円  
営業利益:  $\Delta 4$ 百万円

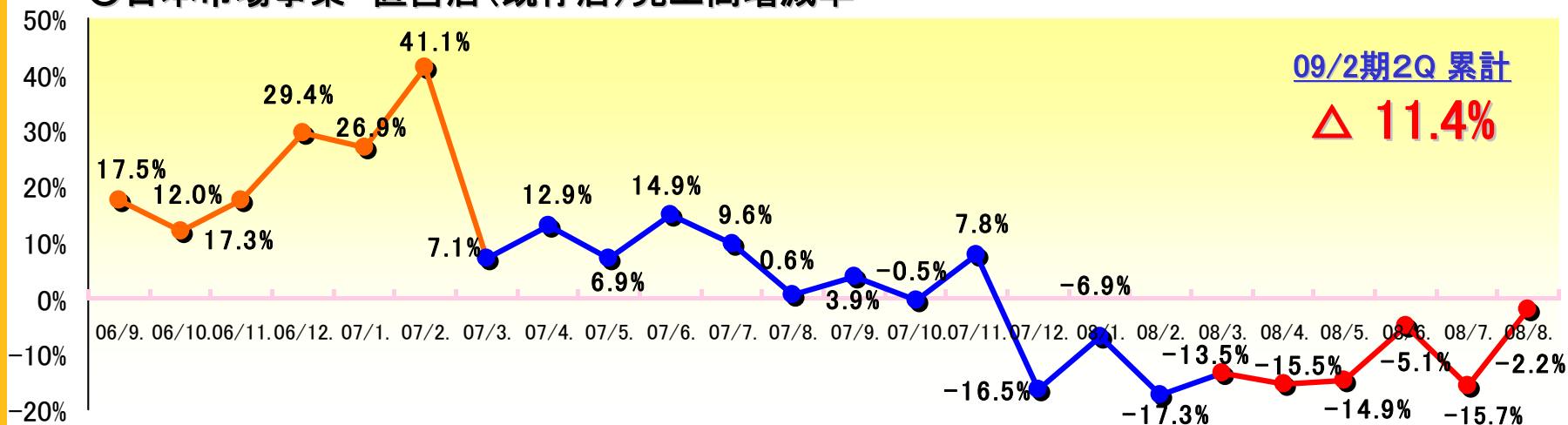
- ✓順調に事業が進行し、売上高増加。営業利益も黒字化定着
- ✓古本販売企画をはじめ、各種販促キャンペーンを実施
- ✓人員補充等による費用増加
- ✓売上伸張率:  $+ 2.0\%$

「消去又は全社」: 前年同期比 連結売上高  $+ 3$ 百万円、連結営業利益  $\Delta 87$ 百万円

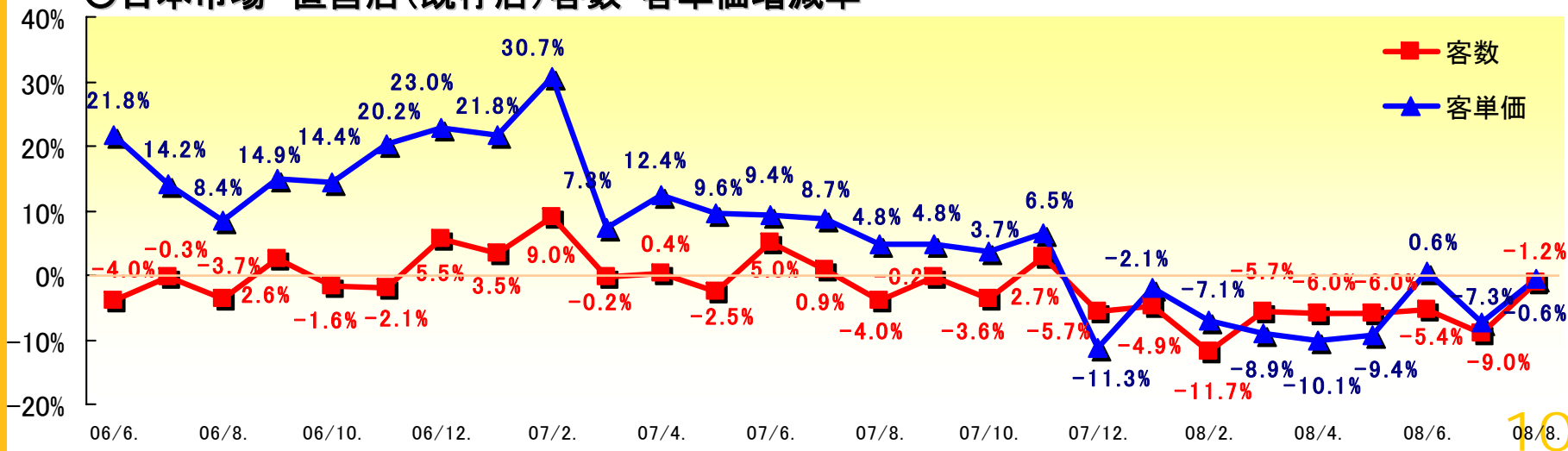
# 【古本市場事業】

新型ゲーム機活況の反動減により、前年同期比減収減益

○古本市場事業 直営店(既存店)売上高増減率



○古本市場 直営店(既存店)客数・客単価増減率



# 【古本市場事業】『物流改善プロジェクト』を実施

物流コストの見直し・古本管理オペレーションの改善を目的としたプロジェクトを発足

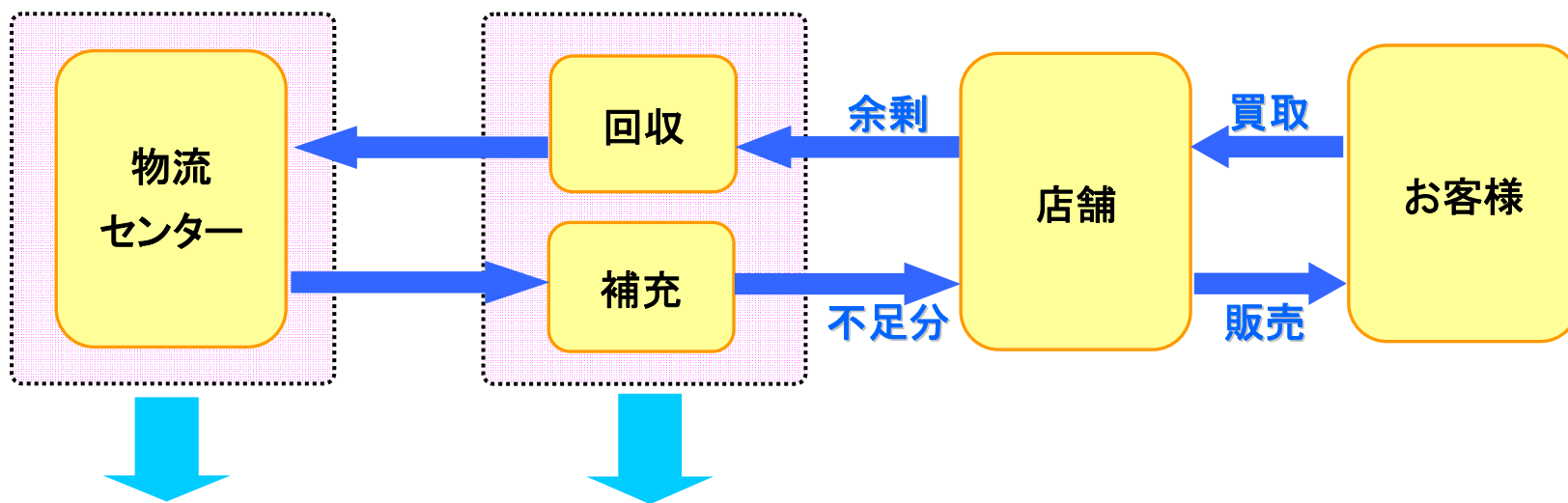
物流在庫数の  
適正化

+

無駄な物流  
コスト削減

⇒ **物流コストの削減**

古本在庫の物流経路



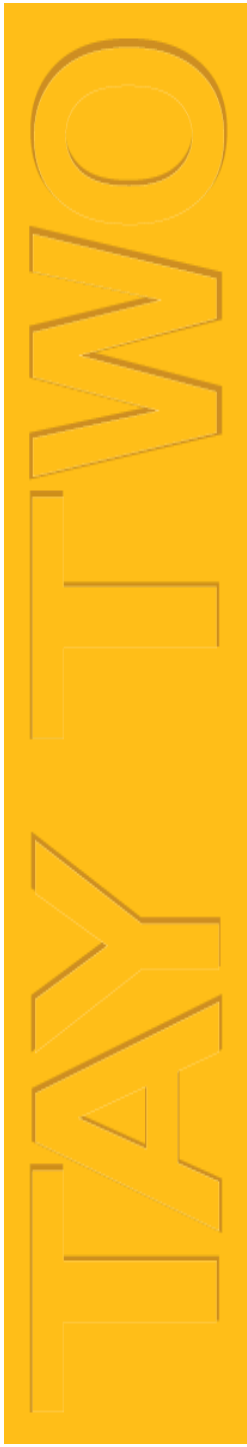
## 改革①

過年度余剰在庫  
の廃棄

## 改革②

店舗・倉庫の  
オペレーション改善

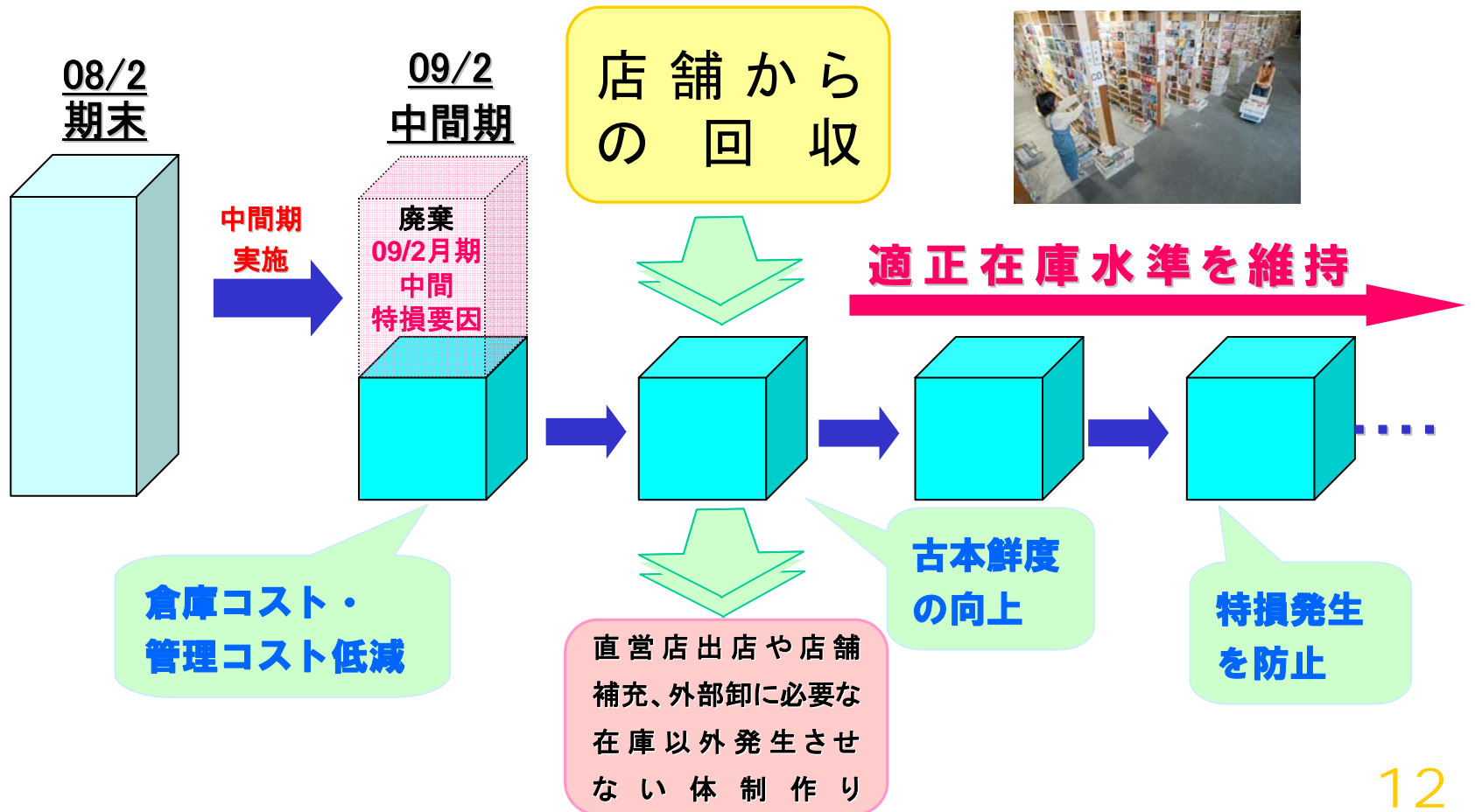
適正在庫の実現と物流  
システム全体の見直しに  
より、コスト削減を目指す



# 【古本市場事業】『物流改善プロジェクト』 具体策①

## 改革① 過年度余剰在庫の廃棄

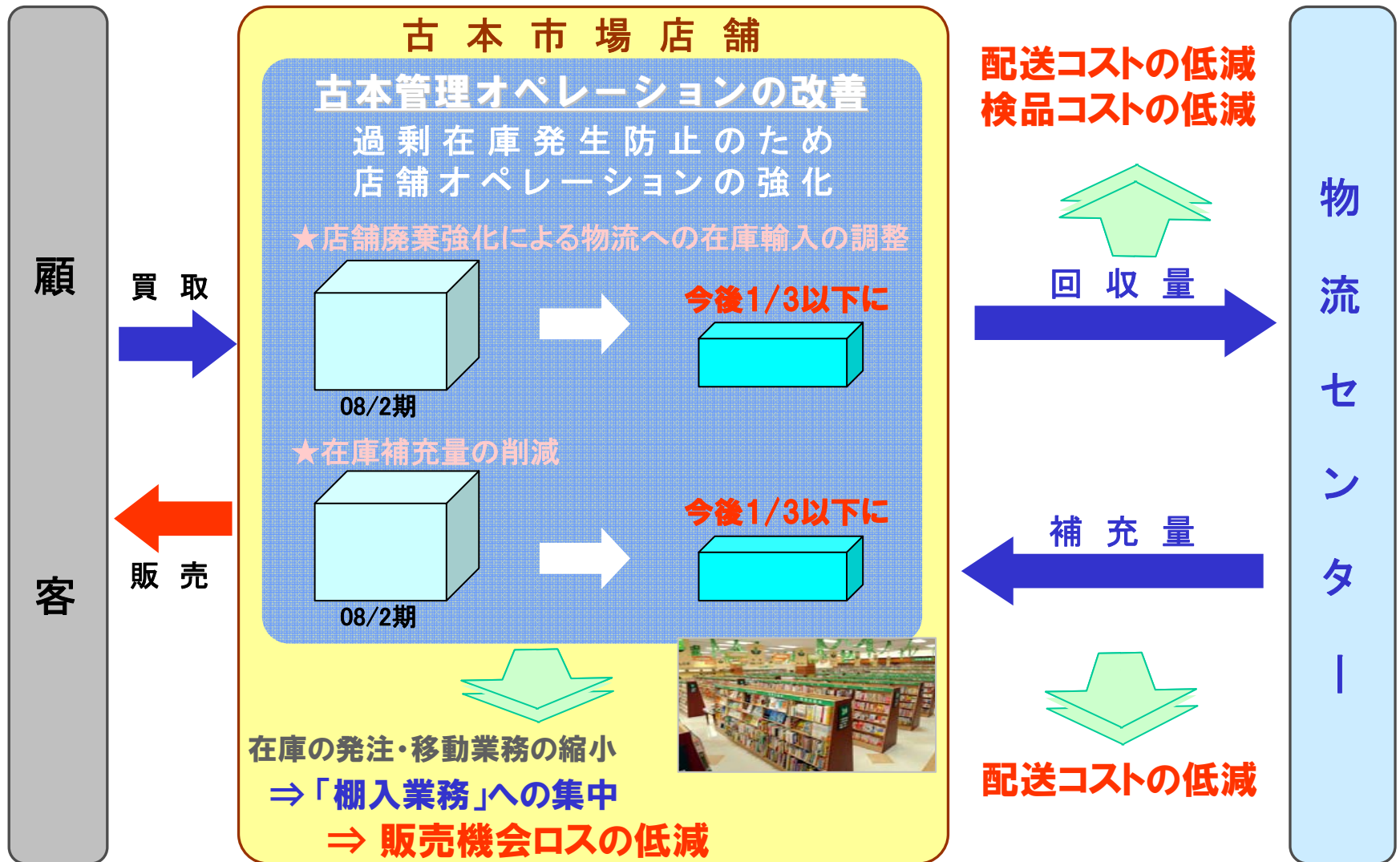
- ✓ 倉庫コスト・管理コストの低減
- ✓ 古本鮮度の向上
- ✓ 今後の特損発生を防止



# 【古本市場事業】『物流改善プロジェクト』 具体策②

## 改革② 古本管理オペレーションの改善

✓物流(配送・検品)コストの低減、業務の効率化を図る

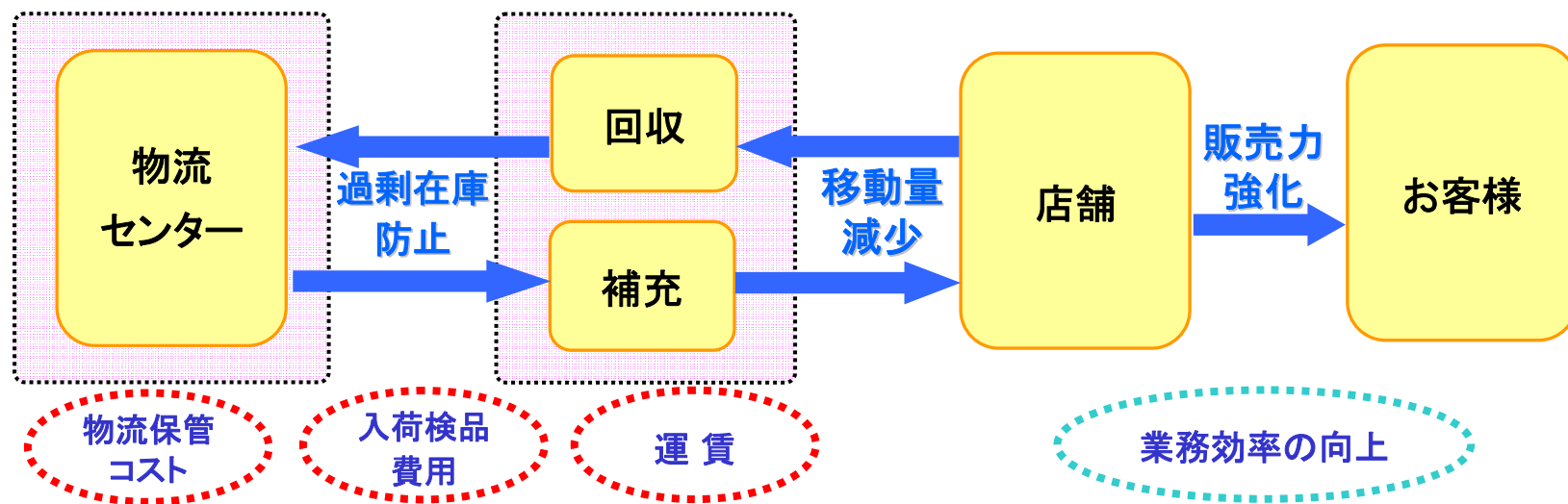


# 【古本市場事業】『物流改善プロジェクト』 まとめ

## 改善効果

- ① 物流コスト削減による利益率向上
- ② 業務効率の向上

⇒コスト削減を進めると同時に、  
「棚入」業務への注力を行い、**販売力強化も実現**



入荷冊数を減少、古本廃棄及び過剰在庫防止により

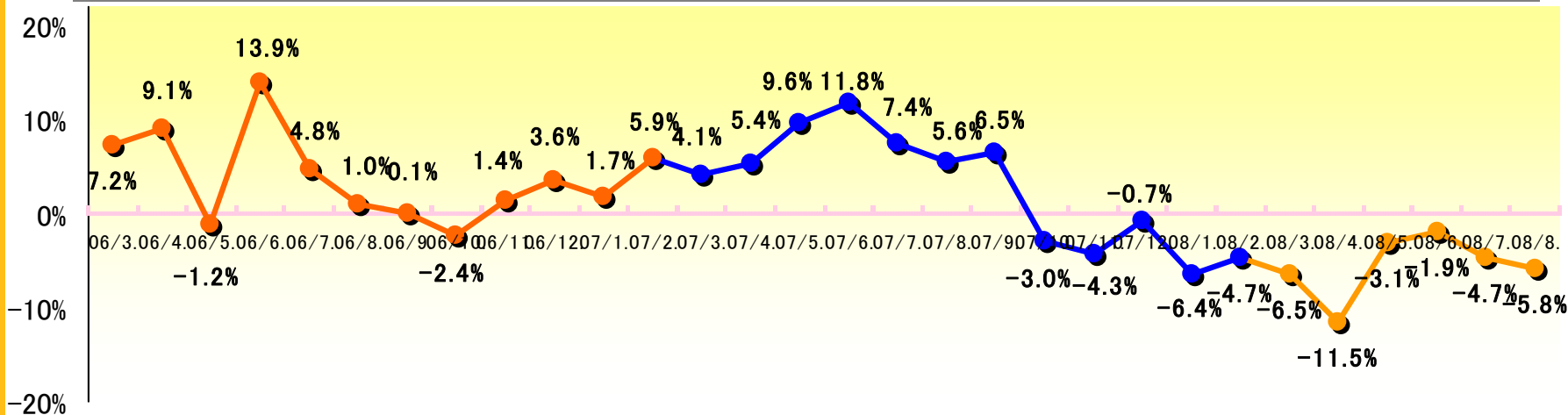
**物流コスト削減による営業利益改善効果**  
年間37百万円

「棚入」業務への注力により

**販売力強化も実現**

# 【アイ・カフェ事業】、【EC事業】の概況

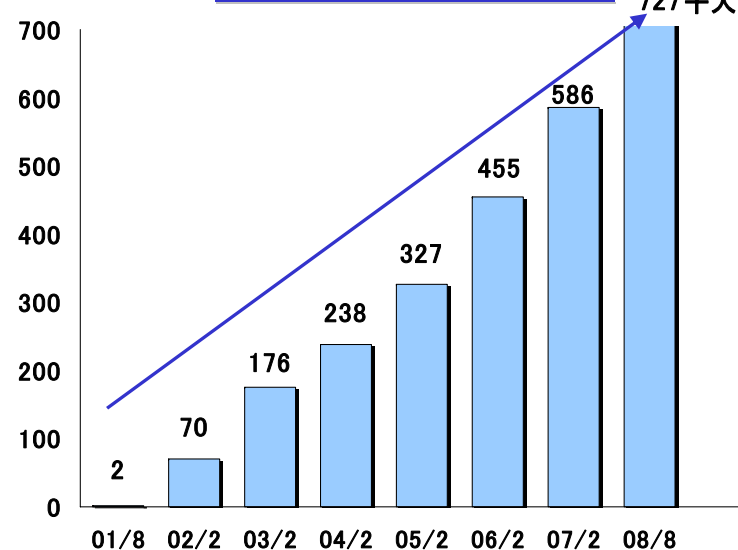
インターピア新POS売上計上により前期比増収を達成、赤字幅も縮小



順調に事業が進行し、売上高は前年同期比微減ながら営業黒字が定着



## ユーブック会員数推移

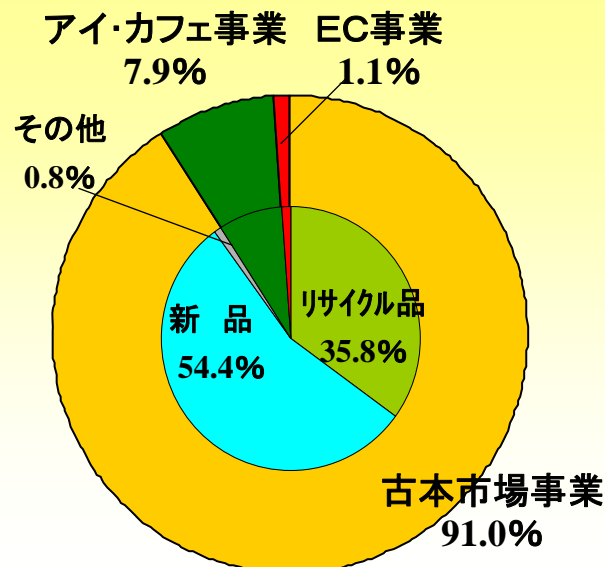




## 2009年2月期 中間期 品目別売上高・売上総利益【連結】

### 売上高、構成比

新品内訳	百万円	
	08/2	09/2
新刊書籍	382	367
新品ゲーム	11,263	9,171
新品CD	561	619
新品ビデオ	590	560
その他	36	31
合計	12,835	10,749

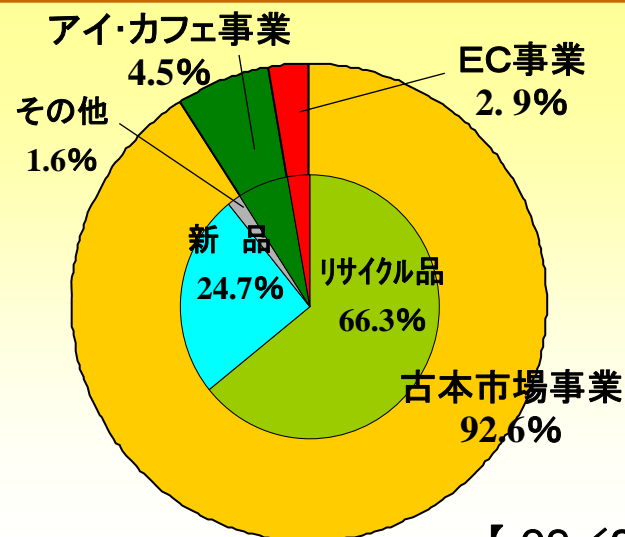


リサイクル内訳	百万円	
	08/2	09/2
古本	2,383	2,339
中古ゲーム	3,928	3,919
中古CD	345	320
中古ビデオ	535	498
合計	7,192	7,078

【09/2期2Q 構成比】

### 売上総利益、構成比

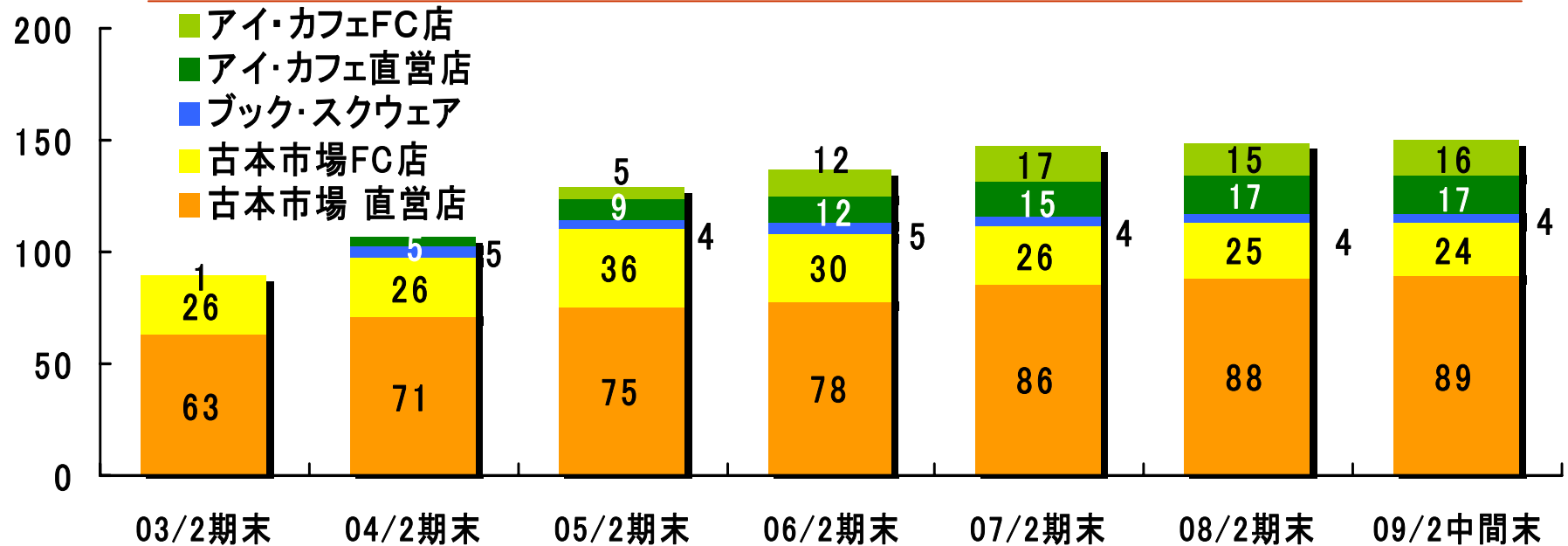
セグメント別	百万円	
	08/2	09/2
古本市場事業	5,092	4,850
リサイクル	3,529	3,471
新品	1,462	1,291
その他	101	87
アイ・カフェ事業	217	234
EC事業	147	150
合計	5,457	5,235



【09/2期2Q 構成比】



## 2009年2月期 中間期 出店状況



	08/2期	09/2期 中間			増減数
	期末	出店	退店	期末	
古本市場直営店	88	1	0	89	+1
古本市場FC店	25	0	△1	24	△1
ブック・スクウェア	4	0	0	4	0
アイ・カフェ直営店	17	0	0	17	0
アイ・カフェFC店	15	1	0	16	+1
合計	149	2	△1	150	+1

## 2009年2月期 中間期 貸借対照表【連結】

	08年2月期末		09年2月期 中間期末		増減額
流動資産	5,908	51.9%	6,038	53.0%	130
現金・預金	1,187	10.4%	1,323	11.6%	135
たな卸資産	3,812	33.5%	3,712	32.6%	△99
その他	907	8.0%	1,002	8.8%	94
固定資産	5,473	48.1%	5,347	47.0%	△125
有形固定資産	2,305	20.2%	2,186	19.2%	△118
無形固定資産	358	3.2%	328	2.9%	△29
投資その他	2,808	24.7%	2,831	24.9%	22
総資産	11,381	100.0%	11,385	100.0%	4
流動負債	4,722	41.5%	4,550	40.0%	△171
買掛金	1,365	12.0%	1,173	10.3%	△192
短期借入金	1,533	13.5%	1,993	17.5%	460
その他	1,823	16.0%	1,383	12.1%	△439
固定負債	1,889	16.6%	2,074	18.2%	185
長期借入金	1,401	12.3%	1,611	14.2%	209
その他	487	4.3%	463	4.1%	△24
純資産	4,769	41.9%	4,760	41.8%	△9
株主資本	4,555	40.0%	4,553	40.0%	△2
評価換算差額等	3	0.0%	3	0.0%	0
新株予約権	7	0.1%	13	0.1%	6
少数株主持分	202	1.8%	189	1.7%	△12

(百万円)

### 【参考】

設備投資額(連結)  
291百万円  
減価償却費(連結)  
276百万円

## 2009年2月期 中間期 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

営業CFの内訳

	08年2月期 中間期 2007/3~8	09年2月期 中間期 2008/3~8
営業キャッシュ・フロー	473	△151
投資キャッシュ・フロー	△623	△286
財務キャッシュ・フロー	△67	573
現金及び現金同等物	1,177	1,190

	08/2期2Q	09/2期2Q
税引前当期純利益	728	263
減価償却費	223	276
たな卸資産増減額	223	99
仕入債務増減額	△589	△192
その他	266	△54
<b>小計</b>	<b>853</b>	<b>393</b>
法人税支払額等	△380	△544
<b>営業CF計</b>	<b>473</b>	<b>△151</b>

### ○営業キャッシュフロー

- 税引前当期利益が大幅に減少し、仕入債務減少や法人税増などにより、営業キャッシュ・フローは減少

### ○投資キャッシュフロー

- 有形・無形固定資産取得により支出、テイツー‘もったいない’ファンドへの投資による支出

### ○財務キャッシュフロー

- 一時的な資金調達により短期借入金の増加、設備投資確定により長期借入金の増加

TAY TWO

2009年2月期 業績予想

## 2009年2月期 通期業績見直し(連結・単体)

### ■連結通期業績予想

(百万円)

	2008年2月期		2009年2月期				前期比
	実績		期初予想		2008年9月17日修正		
売上高	45,568	100.0%	44,000	100.0%	42,500	100%	△ 6.7%
営業利益	1,448	3.2%	1,270	2.9%	880	2.1%	△ 39.2%
経常利益	1,413	3.1%	1,200	2.7%	810	1.9%	△ 42.7%
当期純利益	634	1.4%	500	1.1%	250	0.6%	△ 60.6%

連結EPS	1,248円60銭	988円71銭	498円18銭
-------	-----------	---------	---------

### ■単体通期業績予想

(百万円)

	2008年2月期		2009年2月期				前期比
	実績		期初計画		修正予想		
売上高	42,338	100.0%	40,100	100%	39,400	100%	△ 6.9%
営業利益	1,629	3.9%	1,200	3.0%	970	2.5%	△ 40.5%
経常利益	1,631	3.9%	1,150	2.9%	930	2.4%	△ 43.0%
当期純利益	188	0.5%	480	1.2%	300	0.8%	59.5%

## 2009年2月期 通期業績見通し(セグメント別売上)

### 【 修正要因 】

### ■事業セグメント別売上高

	2009年2月期		前期比 増加率
	期 初 計 画	2008年9月17日修正	
連結売上高	44,000	⇒ 42,500	△ 6.7%
古本市場事業	40,180	⇒ 39,160	△ 7.5%
アイ・カフェ事業	3,350	⇒ 2,900	2.9%
EC事業	550	⇒ 530	4.7%
消去又は全社	△80	⇒ △90	—

#### ◆ 連結売上高

直近の消費環境の  
トレンド反映

#### ◆ 古本市場事業

新規出店の遅れ等の  
影響

#### ◆ アイ・カフェ事業

インターピアの新POS  
売り込み計画見直し等  
の影響

	2008年2月期 実 績
連結売上高	45,568
古本市場事業	42,332
アイ・カフェ事業	2,816
EC事業	506
消去又は全社	△87

## 2009年2月業績見通し(セグメント別営業利益)

### ■事業セグメント別営業利益

	2009年2月期		前期比 増加率
	期 初 計 画	2008年9月17日修正	
営業利益	1,270	⇒ 880	△39.2%
古本市場事業	2,360	⇒ 2,130	△20.6%
アイ・カフェ事業	△10	⇒ △160	- %
EC事業	30	⇒ 20	黒字継続
消去又は全社	△1,110	⇒ △1,110	- %

	2008年2月期 実績
営業利益	1,448
古本市場事業	2,682
アイ・カフェ事業	△224
EC事業	7
消去又は全社	△1,017

### 【 修 正 要 因 】

#### ◆ 連結営業利益

売上高減少が主要因

#### ◆ 古本市場事業

売上減少に加わり、システム戦略見直しによる先行投資発生

#### ◆ アイ・カフェ事業

インターピアの売上減少の影響等

TAY TWO

参考資料



# 会社概要

社名	株式会社テイツー（英訳名 TAY TWO CO.,LTD.）
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日：JASDAQ
本社	岡山県岡山市今村650-111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1ダヴィンチ芝パークA館8F
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取及ビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイトの運営
グループ会社	株式会社ユーブック、株式会社アイ・カフェ、インターピア株式会社
従業員数	正社員449人、パート・アルバイト1,628人、計2,077人（2008年8月現在）
資本金	1,165百万円（2008年8月末現在）
発行済株式数	551,400株：単元株制度なし（2008年8月末現在）
株主数	6,018名（2008年8月末現在）

# Mission

---

## ■ 経営理念

「満足を創る」

## ■ スローガン

Customer Value Creation ～顧客価値の創造～

## ■ 行動指針

ティツーの七感

- 変化を観る「目」をもつ
- お客様の声を聴く「耳」をもつ
- 親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- 自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- 常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

テイツー・グループ・スローガン

# Customer Value Creation

## ～顧客価値の創造～

本資料は、2009年2月期中間期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2008年10月21日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 片山 靖浩・徐(ソウ)チョンホン

TEL03-5408-5532 FAX03-5408-5501

E-mail: [ir@tay2.co.jp](mailto:ir@tay2.co.jp)

URL: <http://www.tay2.co.jp>